

ジュニア・レポート Vol.4

京都府舞鶴市立明倫小学校
実施日：2018年10月11日(木)

学校紹介

東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー学校訪問の京都府での訪問先は、京都府北部の日本海に面した舞鶴市立明倫小学校。

2018年10月11日、全校児童約300名の小学校に、フラッグを持ってきたのは、北京2008大会でウエイトリフティングに出場し、6位に入賞された齋藤里香（さいとうりか）さん。東京2020組織委員会 アスリート委員であり、この明倫小学校の卒業生でもあります。

歓迎セレモニーでフラッグを振った6年の柴田瑠奈（しばたるな）さん、亀本蒼真（かめもとそうま）さんにジュニア・レポーターとして、舞鶴市の紹介や齋藤里香さんにインタビューしていただきました。



自己紹介

明倫小学校6年2組の柴田瑠奈（しばたるな）（左から1番目）です。今日のフラッグ歓迎セレモニーでは、パラリンピックフラッグを振りました。いままで、いろんな所を巡ったフラッグだと思うと少し緊張しました。学校ではバレーボールをやっています。バレーボールは6人で声をかけて行うスポーツなので、チームワークが楽しいです。黒後愛選手が好きです。

6年2組の亀本蒼真（かめもとそうま）（右から1番目）です。京都府内で1校しか選ばれない学校訪問イベントで、オリンピックフラッグを振るととても重たく感じました。明倫小学校の野球クラブに入っています。ポジションはセンターです。お祖父ちゃんのお父さんが阪神が好きでよく野球中継をみているので、僕も阪神ファンです。明倫小学校の野球クラブはほとんど阪神ファンです。



舞鶴市について

（柴田）舞鶴市には戦後の引き揚げを紹介している「舞鶴引揚記念館」があります。「ユネスコ世界記憶遺産」にも登録されました。シベリア抑留が実際どんなところだったのかわかる模型があります。

（亀本）舞鶴市は海が近くにあり、魚がたくさん獲れ「かまぼこ」が有名です。

齋藤里香さんの印象について



（柴田）今日の講演を聞いて印象に残ったことは、努力して北京オリンピックという大舞台に出られたことはすごいことだと思いました。

（亀本）北京オリンピックで入賞されたのはすごいことだと思いました。努力すればできると思ったので、僕も努力して世界の舞台に出たいと思いました。

齋藤里香さんへの質問

（柴田）最近ハマっていることは何ですか。

（齋藤）ロンドン2012大会の後、現役を引退して、トレーニングを教えています。昔のようなトレーニングはしていませんが、今の方がトレーニングは楽しいです。

（亀本）今まで、アジア大会等で取ったメダルは何個くらいありますか。

（齋藤）国際大会で取ったメダルは多くなくて、10個もないです。個数は、はっきりわかりませんが、家に大切に置いてあります。

東京2020大会に期待すること

（柴田）実際に東京に行って試合をみたいですね。

（亀本）いらなくなった携帯電話をメダルにする取り組みに自分も参加したいです。

卒業生の齋藤さんから明倫小学校へメッセージ

私自身は普通の小学生でした。特に皆と違うということはありませんでした。皆にもいろんな可能性があります。自分がやってみたい気持ちを大切に、いろんなことにチャレンジしてほしいと思います。